



しーぱっぶ CPAP外来通信 第173号

2019.10.9



TOKYO 2020



皆さまこんにちは。10月、朝晩の気温がぐっと下がりいよいよ季節の変わり目となりました。体調管理にご注意ください。さて今回は睡眠関連ということで、来年に迫っております『2020年東京オリンピック』の睡眠に関わる情報をご紹介します。

選手村のベットはダンボール!!?

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催まで1年を切り、東京2020大会組織委員会から東京五輪の選手村で使用される寝具が9月24日に発表されました。大会オフィシャル寝具パートナーの「エアウィーブ」によると、この寝具は大会特別仕様で、選手の睡眠環境の改善のため機能性寝具が選手村に導入されるのは今大会が初めてだそうです。東京オリンピックでは18000ベッド、東京パラリンピックでは8000ベッドを用意されます。

マットレスは、選手の体型や体重によって、肩・腰・脚、それぞれのマットレスの硬さを調整できるのも特徴のひとつです。また、掛け布団には羽毛ではなくポリエステルを用いるなど、環境にも配慮した素材を使用していて、ベッドフレームには、なんと『**段ボール**』!!!



強度は一般的なベッドフレームの荷重である200kgを少なくともクリアしており、これは平均的な成年男子3人分が一度に乗って飛び跳ねても大丈夫な程度のもとなっています。

ダンボールのベッドフレームは新聞紙などの古紙に、エアファイバー製のマットレスも溶かしてペレット状にした上で、ビニール袋に再加工することができます。内部の段ボール製の梁を増やすことで、荷重も十分吸収できるようにしています。

また、このベッドは使用後に分解して、袋に詰めてひとりで持ち運び可能になっています。東京2020年大会終了後、別の場所で組み立て直して、また寝具として使っていただくことも可能ですし、分解したまま被災地用に保管することも可能だそうです。

来月のCPAP外来は**第2木曜日**の11月14日(Dr 藤原)、**第4木曜日**の11月28日(Dr 藤原)に行います。

☆ 過去のCPAP外来通信が呉共済病院ホームページでご覧になれます ☆

<http://www.kure-kyosai.jp/> へどうぞ。

発行/ 臨床研究科

